



JET プログラムの魅力向上 ～終了前研修と終了後のサポート～

(一財)自治体国際化協会 JET プログラム事業部

はじめに

JET プログラムの参加期間は、国際交流を推進するため、最長でも5年と定められています。そのため、JET 参加者がよく抱く不安の一つに、JET 終了後の進路のことが挙げられます。

クリアでは、そのような不安を解消し、JET プログラムを参加者にとって、より魅力的なプログラムとすることで、より優秀な人材を集めるため、JET 終了後のサポートを行っています。今回は、2017年2月に行われ、約370名のJET参加者が参加した、JET プログラム終了前研修についてご報告します。

JET 終了後のキャリアに関するアンケート

クリアでは、終了前研修等に先立ち、研修内容やキャリアサポートをより充実させるため、「JET プログラム参加者終了後のキャリア支援に関するアンケート」を実施し、2,000人程度の現役JET参加者にご回答いただきました。このアンケートによると、最も多い39%程度の方がJET終了後も日本での居住を希望しています。一方で、「仕事が見つかるかわからない」、「JET プログラムの経験やJETプログラムを通じて身につけたスキルをどのように活かせるかわからない」といった不安の声も多く聞かれました。

また、JET プログラム終了前研修や、キャリアフェアは多くの参加者が今後のキャリアを考えるツールとして期待していることがわかりました。

JET プログラム終了前研修

(1) 講義について

終了前研修は、9割以上のJET参加者の母語である英語で行われています。この研修では、全体向けの講義および特定の業界などを考えているJET参加者

のための分科会を行いました。

全体講義では、基調講演、全体会、パネルディスカッションが行われ、いずれも海外から招致した経験豊富な講師（主に元JET参加者）にお話しいただきました。

基調講演では、「仕事に対する新たな視点の創造」と題して、これからのキャリアプランを考えるにあたっての考え方や気を付けるべきことなどについてお話しいただきました。講義は、時折受講生への質問も交えながら行われ、JET参加者たちは自分が本当にやりたいことは何か、夢をかなえるために必要なことは何かを考えながら真剣に聞き入っていました。

全体会は、キャリアコーチとして活躍している元JET参加者をお招きし、「JET経験の売り込み方」についてお話しいただきました。具体的には、履歴書作成や面接の時どのようにJETの経験を売り込めるか、またJETの経験やつながりがどのように役に立ったかをお話しいただき、JET参加者たちの実情に即した、大変有意義な講義となりました。



全体会の様子

また、全体のパネルディスカッションでは、背景も職種も様々な3名の講師に、JETプログラム終了・帰国後について話し合ってもらいました。幅広い話題についてディスカッションでき、また、受講生が直接講師にたくさん質問できたので、多くのJET参加者にとって興味深いものだったのではないかと思います。

一方、選択制の分科会は、3つの時間帯に9種類用意しました。分科会のテーマの選定に当たっては、前述のアンケート結果をもとに、なるべくJET参加者の希望に即した業種について開講することとしました。今年度の内訳は、「日本での就職活動について」、「大学院への進学」、「旅行・観光業界」、「クリエイティブ業界について（写真・デザイン）」、「通訳・翻訳」、「教育分野」（2種類）、「異文化間コンサルティング」、「ゲーム業界」です。いずれもその業界で活躍するプロの方をお招きし、現在の職務内容などについて詳しくお話しいただきました。

(2) ネットワーキング・情報交流会について

この内容は、2015年度終了前研修から設けています。広い部屋の中に講師が点在しており、参加者は興味のある講師のところに行って、講義よりも気軽に雰囲気でお話をしたり、名刺交換を行ったりすることができます。



ネットワーキング・情報交流会の様子

今回の終了前研修では、1時間設け、19名の講師にご協力いただきました。ネットワーキングの会場は、大勢の参加者であふれ、皆メモを取ったり、うなずいたりしながら熱心に参加していました。人気の業界の講師は、たくさんの参加者に囲まれていましたが、それでも諦めずに講師と話をしようとする参加者の様子に、将来に向けて真剣に考えていることがうかがえました。

(3) 個別相談について

終了前研修の分科会やキャリアフェアと並行して、参加者が講師に1対1で相談できる個別相談の時間も設けました。この個別相談は、講師に直接悩みや疑問を相談できるため、毎年大変ご好評いただいています。今年度はお招きしたすべての講師、計20名にご協力

いただき、参加者1人あたり20分の枠を203枠用意しましたが、事前応募および当日受付で全ての枠が埋まるほどの人気でした。

終了後に講師から伺った話では、中には将来についてとても悩んでいる参加者もいたようですが、講師から今後のキャリアについての助言や励ましの言葉をもらい、前向きに考えるきっかけとなったようです。講師たちからも、積極的なJET参加者たちから刺激を受け、充実した時間を過ごすことができたという意見が出ました。

JET プログラムキャリアフェア

JETプログラムキャリアフェアは、今年度、首都圏と大阪において開催しましたが、このうち首都圏のキャリアフェアは、終了前研修と同時開催しました。企業もグローバル化する中、日本と母国双方の文化を理解しているJET参加者の需要は高まっており、このキャリアフェアには、77社の企業や団体にお越しいただきました。JET参加者は、直接採用に結びつく機会というだけあって、熱心に企業ブースを回っていました。



キャリアフェアの様子

おわりに

終了前研修後には、参加者から、「不安が解消した」、「夢に近づくための手段を見い出せた」といった感想をいただきました。JET参加者が希望の進路へ進むことは、任用団体やJETプログラムとの良好な関係の維持にもつながるのではないかと思います。

クレアでは、現役JET参加者の能力向上に努めるとともに、JETプログラムをより魅力的なプログラムとして、さらに多くの、より優秀な方にご応募いただくため、今後もサポートを続けていきます。